

KALS 大学院入試対策講座

専属チューターからのメッセージ

チュートリアル通信

【2016 年度秋期】税法科目免除 VOL.3



河合塾 KALS の大学院入試対策講座では、チューター制度を導入しています。チューターは当校の合格者 OB/OG を中心に編成。授業での合格指導のみならず、受講生向け学習ガイダンス「サクセスチュートリアル」や個別カウンセリングなどを通じて、受講生からの進路・志望先に関する事、自主学習に関する事など、合格に向けてきめ細かくアドバイスをしています。以下は、税法科目免除・大木チューターからのメッセージです。今後の受験対策のご参考にしてください！



KALS チュートリアル通信 税法

検索

研究と学習



大学院は、研究のために設置された機関です。その成果は「文化の進展に寄与すること」（学校教育法 99 条）が目的となっています。大学院の役割は、自分が学習をして知識を高めるだけではありません。そして、皆さんは、大学院に「研究者」として入学します。では、「研究」と「学習」の違いは何でしょうか？

端的に説明すれば、「学習」は書籍を読んだり、講義で説明したりすることによって学ぶ（＝まねる）ことのできる**既知**の知識を習得する作業です。大学までは、テキストをベースとして講義が行われるのは、そういう理由です。一方、「研究」は、**未知**の領域を開拓する行為です。その中には、従来、

確立された理論として学習の対象のなっていたものであっても時代の流れによって適切でなくなり、新たな研究が必要とされるものを含みます。研究成果を求めるために、不足した分野についての学習は必要ですが、その学習は、研究の準備となります。

そのため、大学院に行く動機として、「多様な授業が魅力的であるから」とか、「あまりよく知らないので、組織再編について研究したい。」というのは、いずれも「学習」を目的とした発言であることがわかります。研究者である皆さんはこういう学習が大学院進学動機ではいけないのは、もうお分かりだと思います。

現在まだ解決していない問題（未知の問題や、過去には通説とされていたものが現代に合わなくなっている問題などを含みます。）についての研究の成果を「論文」という形で広く世間に公表し、その分野の研究の進展に寄与することがこれから皆さんの目指すことです。

研究計画書とは

- 研究計画書の受験上の役割

研究計画書の中身や書き方については、研究計画書概要講義やこのチュートリアル通信でも今後取り上げていきますが、なぜ受験の際に研究計画書を提出させるのかを考えてみます。研究計画書は出願者の論文を書く力を評価する資料ですが、特に以下の点が重要だと考えられます。

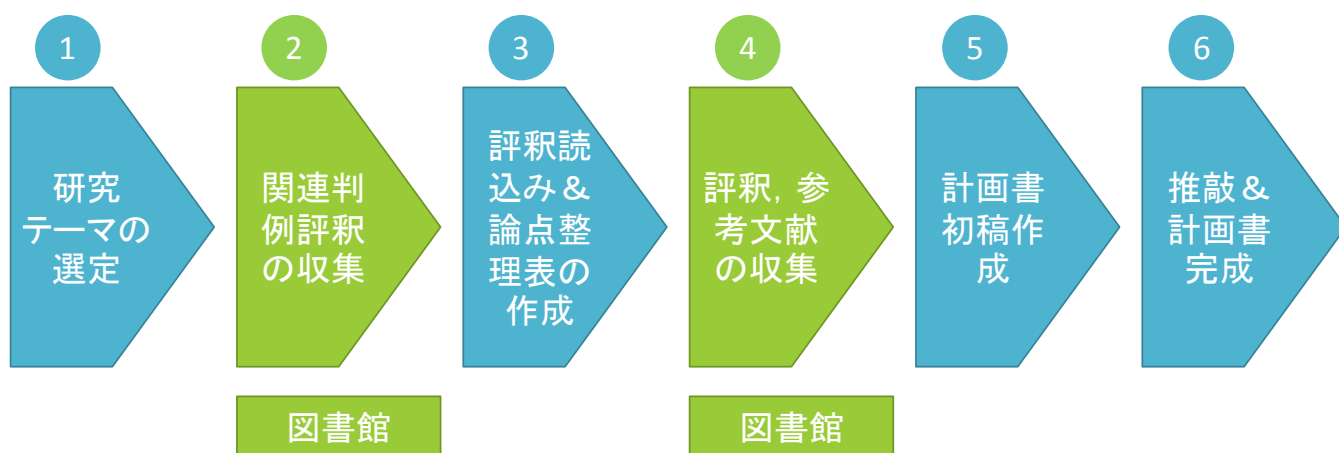
- ① 研究テーマ（＝問題意識）の妥当性
- ② 先行研究の網羅性
- ③ 論述力
- ④ 論文の体裁，引用表示のルール

取り上げた研究テーマが、既に解決済みであるものでは、あまり研究テーマとしての価値がありません。また、自分の意見を一方的に主張するだけでは「エッセイ」になってしまいますので、著名な学者の研究状況についての網羅的な調査が必要になります。そして、結論にむけた論述が先行研究などを利用しながら客観的に述べられていること。最後に、その体裁が、論文を読み慣れた読み手に違和感を感じさせないように書かれていることが重要になります。

かなり、多くのことがこの一つの資料で評価されるので、心配になりそうですね。でも、そのような形で書けるように皆さんを指導することが KALS の役割ですので、安心してついてきてください。

● 研究計画書作成手順

今回は、評釈の収集まで、簡単にご説明しましたが、研究計画書完成までの手順も簡単に見てみましょう。



① 研究テーマの選定

② 関連判例評釈の収集(図書館)

前回説明させていた通り、テーマが決まったら、その判例に関する論文である、「判例評釈」（「判例批評」「判批」「判例解説」などともいいます。）を図書館で収集します。できれば10件以上収集しましょう。

③ 評釈読み込み&論点整理表の作成

評釈が収集できれば、じっくり読んで論点ごとに、裁判所の判決、原告、被告の立場、学者ごとの立場などをまとめた「論点整理表」を作成してください。ここまでできれば、ゴールはもうすぐです。はじめはかなり難解に思えると思いますが、図や表にまとめながら何度も読んで慣れるようにしましょう。

④ 評釈, 参考文献の収集(図書館)

評釈を多く読むと, 重要な文献で収集ができていないものがあることに気づきます。論点整理表の完成のためにもこのように漏れた文献をもう一度収集しましょう。

⑤ 計画書初稿作成

ここまでできたら, 研究計画書を指定の書式で, 書き出しましょう。完成したものについて個別指導で講師のアドバイスを受けてください。

⑥ 推敲&計画書完成

アドバイスを受けたら, 何度も見直して完成まで進めてください。特に, 誤字脱字はしっかりなくすようにしましょう。

終わりに

9月から入講された方は1か月ほどたちそろそろ勉強のペースがつかめたところでしょうか。まだまだ, やるべき全体像の把握ができない中で, 研究テーマ, 志望校の決定と矢継ぎ早に, 迷うことがいっぱいだと思います。特に, 研究テーマの決定は先送りにすると準備が進みませんので, 決めかねている方は, 講師やチューターに一日も早く相談するようにしてください。

年末年始は, 予想外の予定が入りがちです。無理のない, 学習リズムを作って, 初稿の作成までは, 年内に終わるようにしてください。

